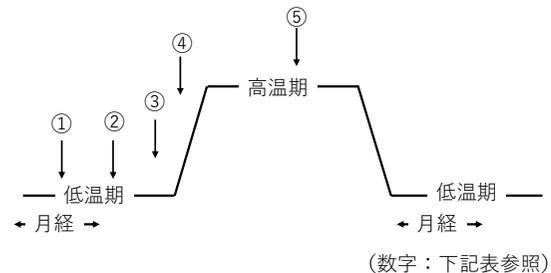


不妊症一般検査のご案内

- 月経周期を把握するため、基礎体温を毎日測定し基礎体温表（右図参照）に記録してください。 外来受診の際には毎回基礎体温表をご提示ください。
- 通常、保険診療にて検査を行いますが、一部自費となる項目があります。
- 子宮卵管造影検査は検査の性質上、電話での予約変更はお受けできません。検査日の変更については、医師との対面診察が必要です。
- 性器出血を認める検査もあります。検査の際には生理用品を持参してください。
- その他、ご不明な点がございましたら、外来診療の際に医師・看護師にご相談ください。

基礎体温の変化と検査



女性側の検査：下記をご覧ください（必要に応じて糖尿病などに関する検査を行うことがあります）

検査時期	検査	費用	内容
初診時	子宮頸部細胞診	保険	子宮頸がんスクリーニングです
初診時	経膈超音波	保険	子宮筋腫・卵巣腫瘍の有無、子宮・卵巣などの形態を評価します。
初診時	血液検査	保険	末梢血：貧血・炎症の有無を調べます。
適宜 (保険診療時を除く)	血液検査	自費	クラミジア抗体検査：陽性の場合には抗菌薬による治療が必要です。子宮卵管造影検査前に行います。 梅毒・B型肝炎・C型肝炎、HIV：感染症の有無を調べます
適宜 (保険診療時を除く)	血液検査 (希望者のみ)	自費	風疹抗体検査：抗体が十分ではないときには、妊娠前のワクチン接種が推奨されます トキソプラズマ・サイトメガロウイルス抗体検査：妊娠前の感染の有無を調べます
月経周期 1-5 日目 (①)	血液検査	保険	排卵に関わるホルモン（卵胞刺激ホルモン、黄体化ホルモン、エストラジオール、プロラクチン） 基礎値の検査です。同時に甲状腺機能の評価も行います。
月経終了後の低温期 (②)	子宮卵管造影	保険	X線透視下で子宮頸管～子宮腔～卵管に造影剤を注入し、子宮内腔の形態や卵管通過性を評価します。
低温期後半 (③)	経膈超音波	保険	超音波による卵胞計測により排卵時期を推定します。
排卵期 (④)	フナー検査	保険	検査当日早朝の性交渉後に受診いただき、子宮・膈内の運動精子の有無を調べます。
高温期 7-10 日目 (⑤)	血液検査	保険	着床に関わるホルモン（黄体ホルモン、エストラジオール）の検査です。

男性側の検査：精液検査（自費）：精液の量、精子濃度、運動率を評価します。